

☆公害による健康被害を許すな!  
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



丹チヨウ  
画:橋本正弘

# 大阪から公害をなくす会 ニュース

## 大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19  
内本町松屋ビル10 370号  
TEL 06-6949-8120  
FAX 06-6949-8121  
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp  
URL http://oskougai.com/  
発行責任者 芹沢 芳郎  
年間購読料一部2,000円(送料共)  
郵便振替 00910-7-300387



### 泉南アスベスト国家賠償訴訟

## 雨も蹴散らす勝利判決!

2010年6月19日、泉南アスベスト国家賠償請求訴訟の判決が出されました。

判決に先立って、大阪地裁正門前で持たれた「判決前集会」では、原告家族、弁護団、支援者たち約300人が、「勝利の日まで」を歌い原告を激励しました。

『なんとか勝ちたい』、『勝た

せたい』という思いで無口になりがちなか中、13時30分傍聴席は満席になりました。弁護団では原告側30人を超えています、国側は10名ぐらいです。裁判官の入廷後、テレビ撮影終了と同時に始まった判決言い渡しでは、主文に1と2があると言われ、1原告何々金額が次から次へと言われ何か聞きもらなかったかなど思っているうちに、2と言われ南、青木、岡田は棄却と言われました。原告29名中26名は救済されることになり金額が発表されたが、後の3名については認められなかったの？

2年半、裁判を傍聴してきた者には自分の耳を疑うほどでした。同じ被害にあり苦しみ、酸素をつけながら証言台に立ち、「何も知らされず子どもの頃母親の仕事のそばに寝かされ、このような病気になったこと絶対に許せない」と訴えた彼女のことが頭に浮かび

んな同じなのに、3人は棄却の言葉に裁判官の顔を思わず睨んでしまった。傍聴者全員に何とも言えない怒りが流れ、「勝訴」で喜びたいのと許されない気持ちで複雑でした。

法廷外に出ました。待っていた人たちに、弁護士の報告の大きな声で「勝利判決を勝ち取りました」という言葉でやっとな勝利の実感がわいて来たのが事実です。

その後14時30分から、いきいきエーリングセンターで「5・19判決勝訴報告集会」が開かれ約300名が参加しました。

国賠訴訟勝たせる会代表の半田さんはあいさつで、「4年間、国の作為不履行を追求してきた。検証の上に立って完全救済勝利をめざし安全な社会に転換していく一大事業にしていきたい。国に救済を求める。金が問題じゃない。国が悪あがきをするなら長くかかるかもしれない。これからも支援をよろしくお願いします」と訴えました。

判決内容を説明した弁護団は、『原告勝訴の判決を勝ち取ることでできました、皆さんの後押しで勝つことができました、今後国に控訴させず、被害者全員を救済する運動を拡大したい』と提起しました。

原告の満田さんは『判決を聞いた瞬間、勝ったあゝと思いき感動でした。亡き主人に良かったね、国が認めたよと言いました。でも全面勝訴でなく気持ちのは複雑です。又皆で頑張るのみです。多大な御尽力ご支援をくださった皆様にご心よりお礼申し上げます。』と発言されました。

判決後に出会った原告の湖山さんは、『私は帰ってすぐ仏壇に報告しました。夫の死因が死後22年目でアスベストによる肺がん中皮腫だったと確信しました。夫の母も肺がん死です。真実は法廷で下ったと思っています』と言われました。

公害をなくす会からの呼びかけで、支援活動に参加くださった皆様ありがとうございました。国は控訴の方向で動き始めたようです。引き続きご支援をよろしく願います。

(なくす会事務局 八嶋やよい)

判決の概要は2面に